

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部



令和四年十二月度 入賞句一覧 投句数 千四百八十六句

特選

説田 祐子 選

悩みなどちつぽけになる冬の星

加茂郡川辺町 新藤 大知(中三)

秋から冬にかけて夜空に輝く「星」は、一段ときれいに輝き、寒さも忘れて見上げたことは、多くの人たちにあるのではないでしようか。  
作者は、その時の様子だけではなく、自分の想い(悩んだこともあること)を率直に書いているところがいいですね。この句を読んだ人たちもきつとこの句に共感できることでしょう。私もその一人です。

おちばたち車のあとをおどりだす

大垣市 河合 里桜(小二)

年末を迎え、緑豊かだった木々も枯葉になり、家の庭や車道にもあちこち見かけるようになりましたね。その様子を「車のあとをおどりだす」ととらえたところがおもしろいです。

冬びよりばしようとともにはいくよむ

大垣市 大橋 心麦(小六)

作者は、学校の「大垣科」の授業で「むすびの地」へ見学に行ったのでしろうか。それとも家の人と行って「芭蕉像」を見学したのでしろうか。  
その時、ただ「見ました」だけではなく、「ばしようとともにはいくよむ」と書いているところがいいですね。芭蕉さんもきつと喜んでおられることでしょう。

秀逸

星降る日あたたためあつて寒雀

揖斐郡池田町 佐藤 由梨(中二)

かれ葉落ち地面に広がるカーペット

加茂郡川辺町 伊藤 歩花(中二)

山の木々新雪かぶりこごえてる

加茂郡川辺町 馬場 貴大(中二)

深閑と今を彩る朝時雨

加茂郡川辺町 渡辺 かずは(中二)

川の中木の葉とおどる冬のこい

大垣市 大橋 心麦(小六)

落ち葉ふむだれかがきたとふりむいた

大垣市 日比 麻鈴(小六)

あつたかい母のおさがりちゃんちんこ

大垣市 鈴木 桃果(小四)

里芋がどぼんと入るみそ汁に

大垣市 太田 陽希(小五)

しもばしらおんがくみたいパリパリパ

大垣市 子安 明か(小三)

登校中雪と足がけんかする

大垣市 小塚 みのり(小三)

入選

小中学生の部

思い出をスノードームにとじこめて

加茂郡川辺町

細江 華由(中二)

コンビニに肉まん登場冬が来た

加茂郡川辺町

馬場 翔(中二)

オリオン座探して帰る冬の道

加茂郡川辺町

神田 琉斗(中三)

お地藏さん頭にかぶる雪の笠

加茂郡川辺町

西村 光博(中三)

寒いねと笑う友達半ズボン

加茂郡川辺町

加藤 咲桜(中三)

毛糸あむマフラー作った人形に

大垣市

大橋 万葉(小四)

枯木からひよっこりのぞく舳い舟

大垣市

幸谷 葵(小六)

冬日和水面をゆらす鳥の声

大垣市

伊藤 百花(小六)

あきぞらをじつとみつめるばしようぞう

大垣市

上田 実紗希(小六)

俳句よむ芭蕉の石像枯れ葉まう

大垣市

田中 紅音(小六)

冬の川落ち葉がかこむもやい舟

大垣市

石田 玲雄(小六)

父さんと野球にむかう冬の朝

大垣市

小川 旭陽(小二)

あかとんぼたんぼのうえでうんどう会

大垣市

岩田 ゆうせい(小二)

ふとんから中々出れずみの虫だ

大垣市

岡部 莉央(小二)

むしたちがおちばの中でかくれんぼ

大垣市

古川 りょうま(小二)

さむいかぜおちばのはつばおどりだす

大垣市

まき野 ゆうせい(小二)

カモたちが今年もいるよくいせ川

大垣市

西田 なみ(小二)

さあいくぞおなかにカイロいそぎあし

大垣市

山口 七愛(小四)

サンタさんお手紙書いたよまつてるよ

大垣市

大橋 尚真(小二)

いちようの木ぱらぱらおちておほしさま

大垣市

名和 千夏(小二)

選者吟

雪降れど芭蕉翁像ゆるぎなし

祐子

